

高齢者緊急通報システム

お申込みについて

緊急通報受信センターの業務を財団に委託される場合は、準備期間が必要となりますのでお早めにお申込みください。

公益財団法人 北海道健康づくり財団

電話番号:代表

(011) 232-5500

ファクシミリ:

(011) 232-4091

〒060-0042
札幌市中央区大通西6丁目6番地
北海道医師会館5階

発行

公益財団法人 北海道健康づくり財団

〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目6番地 北海道医師会館5階

TEL: (011) 232-5500

FAX: (011) 232-4091

ホームページ

<http://www.hokkaidohealth-net.or.jp>



北海道健康づくり財団

●地下鉄大通駅1番出口
【徒歩5分】

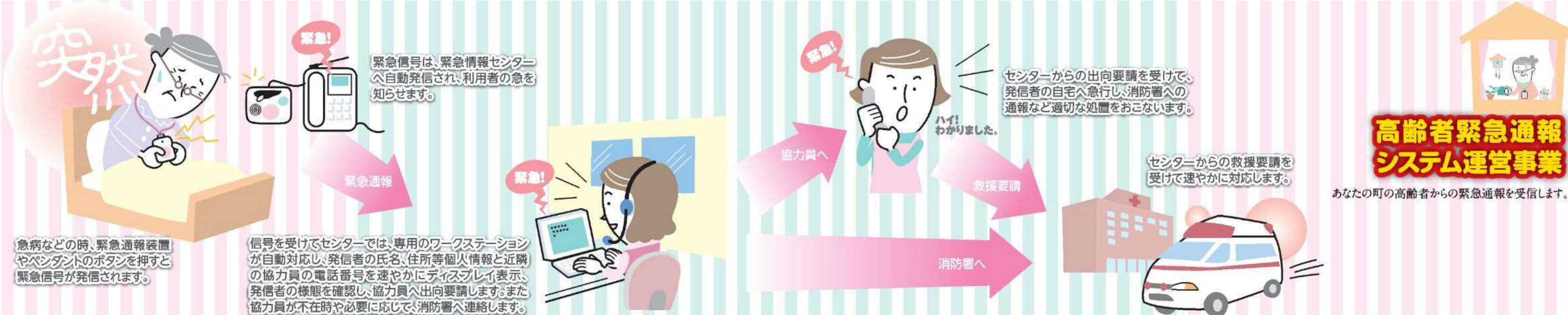
あなたの町の高齢者からの緊急通報を受信します。

高齢者緊急通報 システム運営事業

の ご案内



公益財団法人 北海道健康づくり財団



高齢者緊急通報システム運営事業

あなたの町の高齢者からの緊急通報を受信します。

一人暮らしの高齢者等の不安を解消し、安心な毎日をお手伝いします。

一人暮らしの高齢者等の自宅に緊急通報装置を設置し、急病等の緊急事態が発生したときに無線発信式ペンダント等のボタンを押すと受信センターに通報が入り、近隣の協力員に出向要請したり、必要に応じて消防機関に出動要請する等の救援活動を行います。

主なセンター業務

- 受信センター装置を設置し、緊急通報を受信
- 24時間体制でオペレータを配置
- 緊急通報発信者の情報検索と様態確認
- 協力員への連絡、消防機関への通報
- 緊急通報などの記録、統計管理及び報告



多様なメリット

- 緊急通報受信センターの設備費・維持管理費などが不要です。
- 受信、様態確認、救援出動の要請・連絡に関わるオペレータが不要です。
- 電池切れ通報や誤報などはセンターで対応するため、消防機関は救援業務等本来の業務に専念できます。
- 緊急通報のオンライン業務のほか、実績などの管理統計資料の出力、個人情報の登録といった業務を併行して行うことができますので、事務の軽減が可能となります。

費用負担

- 受信料：一世帯あたり月額：1,000円（消費税及び地方消費税を含む）で、初めの1ヶ月は無料となります。
- その他：現行システムを当財団へ移行される場合に発生する経費については、ご相談ください。

受信可能な緊急通報装置等

緊急通報装置メーカー	センサー等
NTT東日本	ペンダント、ガスセンサー、熱(火災)センサー、煙センサー、人感センサー【※】ほか ※富士通「生活リズムセンサー」 NEC「生活リズムセンサー(人感センサー、ドアセンサー)」 立山「人感センサー(安否センサー、外出センサー)」
富士通テレコムネットワークス	
NEC	
立山システム研究所	

付加サービス等

- 1. 安否確認電話サービス** ●無料
 - 保健師が3か月に一度、利用者の安否や健康状態等の確認を行います。
※ 毎月の場合は、一世帯あたり月額100円の有料で実施します。
- 2. 健康相談受信サービス** ●無料
 - 保健師が相談ボタン通報等により、保健および医療等に係る相談をお受けします。
- 3. 市町村端末機等設置推進事業サービス** ●有料
 - 端末機等のリース及び保守を行います。
- 4. 生活リズム情報の収集及び提供サービス** ●無料
 - 居間、寝室及び玄関の3か所に設置された人感センサーから、一定の時間間隔で利用者の生活リズム情報を収集し、ご家族など見守りを希望される方々に、インターネットを活用して利用者の生活リズム情報を24時間365日提供します。
※ 設置状況等により、一部、有料となる場合があります。

